

沖縄タイムス社・沖縄大学地域研究所 共催

ひきこもりを どう捉え、どう支援していくのか

内閣府の調査によると 40～64 歳の中高年層でひきこもり状態にある人が全国で 61 万 3,000 人いると推計され、2015 年度に実施した 15～39 歳を対象にした調査では 54 万 1,000 人がひきこもりと推計された。本人や家族に計り知れない生きづらさがある「ひきこもり」を当事者だけの問題とせず、正しく捉え、支援の環境を整えていくためには一体何が必要なのか。現場での取材と実践者の話を交えながら議論を深めていく。

2021.2.20 土 | 13:30～17:00
Zoom (先着100名)

視聴料
無料

登壇者

趣旨説明および司会

しまむら さとる
島村 聰

沖縄大学人文学部福祉文化学科 教授／沖縄大学地域研究所 所長



たにぐち ひとし
谷口 仁史

認定 NPO (特定非営利活動) 法人
スチューデント・サポート・フェイス 代表理事

大学在学中から不登校、ニート等を対象とするアウトリーチ（訪問支援）に取り組む。卒業後、有志と共に法人設立。R1 年度までに 42 万 2 千件超の相談に携わり、孤立・排除を生まない支援体制の確立を目指している。「社会保障審議会特別部会」等政府系委員も務める。



ひきめ たかし
墓目 崇

認定 NPO (特定非営利活動) 法人
侍学園スクオーラ・今人侍学園沖縄校 校長

東北福祉大学総合福祉学部卒。認定 NPO 法人侍学園の沖縄校校長の他、沖縄県子供の貧困対策支援コーディネーター専門助言、保護司等を現任。代表を務める合同会社リージョナルスタンダードでは、支援者の居場所運営等の「支えるを支える」活動を展開している。



またよし かりい
又吉 嘉例

沖縄タイムス社会部北部報道部 記者

1977 年沖縄県浦添市生まれ。明治大学法學部卒業。2002 年沖縄タイムス社入社。編集局運動部、社会部、八重山支局、政経部などを経て、17 年 10 月から社会部北部報道部記者。19 年 11 月からひきこもり問題を扱う報道キャンペーン「家族のカタチ」取材班。



しまむら さとる
島村 聰

沖縄大学人文学部福祉文化学科 教授／
沖縄大学地域研究所 所長

那覇市役所での福祉実務経験を経て、2013 年から沖縄大学で、障がい者自立支援制度や福祉コミュニティーに関する講義を担当。県内の子どもの居場所の抱える課題や貧困対策支援員の実情を調査し政策提言を行っている。内閣府振興審議会委員、沖縄県障害者施策推進協議会委員を務める。

プログラム

13:30 開会の挨拶と趣旨説明 沖縄大学 島村	
13:45 報告 「現場取材を通して見えたひきこもり問題」	沖縄タイムス社 又吉 記者
14:15 報告 「県内のひきこもりの支援の現状」	侍学園沖縄校 墓目 校長
14:45 講演 「ひきこもり支援の最前線」	スチューデント・サポート・フェイス 谷口 代表理事
15:15 休憩	
15:30 シンポジウム 「ひきこもりをどう捉え、どう対処していくのか」	
16:30 フロア討論	
17:00 閉会	

オンラインの講義であり「Zoom」を使って行います。Wi-Fiなどネット接続ができる環境で、PC・スマホ・タブレットなどから視聴できます。お申し込みされた方には、講義開始前日までに、接続先の情報（ログインURL）をメールにてご案内します。

■申込先 【MAIL】chiken-staff@okinawa-u.ac.jp

（件名は「2月20日土曜教養講座申込」本文で氏名・電話番号の記載をお願いします）

■問い合わせ先 沖縄大学地域研究所 沖縄県那覇市国場405番地 【TEL】098-832-5599



今後の公開講座等の情報をご希望の方へLINEで配信を行っております。左のQRコードよりご登録ください！

オンライン講座

土曜教養講座 参加の流れ

1. 受講希望者さまからのメールでの申し込み

メールの宛先 (chiken-staff @ okinawa-u.ac.jp) に件名「2月20日土曜教養講座申込」として本文に「氏名」「電話番号」を記入して送信ください。沖縄大学地域研究所より、申込受付の旨返信を致します。ただし先着順で受け付けますので、定数に達したら申込を締め切らさせて頂きます。ご了承ください。

差出人 ▶ 受講希望者アドレス
宛 先 ▶ chiken-staff@okinawa-u.ac.jp
件 名 ▶ 2月20日土曜教養講座申込
本 文 ▶ 受講希望者氏名、受講希望者電話番号

2. 沖縄大学地域研究所から招待メールの送信

講義開始前日までに、沖縄大学地域研究所より Zoom の招待メールを送信します。講座当日の開始時間に合わせて招待メールにある URL をクリックしてください。Zoom がダウンロードされてない方はダウンロードが始まりますのでダウンロード後に講座を受講してください。

受講に関しての注意点

- Zoom での受講中は、音声は OFF、カメラは ON・OFF どちらでも結構です。
- 質疑応答の間に質問のある方は、自分を映すカメラを ON にしてください。こちらから音声のミュートを解除いたします。あるいは進行者の判断でチャットでの質問も受け付ける場合もあります。
- 著作権等の関係上、講演会の録画・録音・撮影、画面のキャプチャ、資料の転送・転載等はご遠慮ください。
- 当日の進行は、記録のために録画させていただきますので、ご了承ください。
- 当日は安定したネット環境をご準備ください。Zoom については事前にインストール等をし、動作の確認を行って頂く事をお奨めします。操作に関する個別のご相談には対応できませんのでご了承ください。
- 講座の進行を著しく妨げる行為であると判断した場合、退室して頂く事もあります。あらかじめご了承ください。